

## 4 たばこ(案)(H.23.5.26版)

### 〈指標の達成状況〉

改善した	目標値に達した		
	目標値に達していない		
変わらない			
悪くなっている			

※各指標の達成状況については、別添シート参照

### 〈総括評価〉

○喫煙が及ぼす健康影響についての知識、未成年者の喫煙、分煙の徹底については、改善がみられた。とくに妊娠、脳卒中、心臓病とたばこの関係の理解が進んだ、行政機関だけでなく、医療機関や交通機関での分煙対策が進んだ。

○喫煙をやめたい人がやめるの参考指標である「禁煙希望者の割合」は増加し、「喫煙率」については減少を見たことから改善があったものと評価。

大学生の喫煙について、今回は評価していないが、今後取り組む必要があるのではないかと。

禁煙治療実施者の数も把握するとよいのではないかと。

### 〈指標に関連した施策〉

○健康増進法(受動喫煙防止)

○たばこの規制に関する世界保健機関枠組み条約

○未成年者喫煙防止法

○禁煙支援マニュアルの配布

○職場における喫煙対策のためのガイドライン

○ニコチン依存症管理料の保険適用

○世界禁煙デーにあわせた取組及び禁煙週間の実施

# 健康日本21の目標値に対する直近値に係るデータ評価シート(案) (H.23.5.26版)

## たばこ分野

記載留意事項・・・各項目の冒頭には、見出しとして分析結果、課題等を要約として記載してください。  
詳細なデータ解析をした場合は、解析結果や二次資料を添付してください。

分野:たばこ			
目標項目:4.1 喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及(知っている人の割合)			
目標値	策定時のベースライン値 (H10年度喫煙と健康問題に関する実態調査)	中間評価 (H15年国民健康・栄養調査)	直近実績値 (H20年国民健康・栄養調査)
a)肺がん 100%	84.5%	87.5%	87.5%
b)喘息 100%	59.9%	63.4%	62.8%
c)気管支炎 100%	65.5%	65.6%	65.1%
d)心臓病 100%	40.5%	45.8%	50.7%
e)脳卒中 100%	35.1%	43.6%	50.9%
f)胃潰瘍 100%	34.1%	33.5%	35.1%
g)妊娠に関連した異常 100%	79.6%	83.2%	83.5%
h)歯周病 100%	27.3%	35.9%	40.4%
コメント			
経年変化を踏まえたベースライン値と現状値の分析、特徴(性、年齢、項目別の分類など)を踏まえた分析			
(1)直近値に係るデータ分析 ・直近値が、目標値に対してどのような動きになっているか、留意点を含み分析	<p>○総じて普及度は上昇傾向であるが、疾患毎にその程度は異なっている。</p> <p>○肺がん・妊娠に関連した異常などは8割以上の普及度であるが、胃潰瘍、歯周病は半数に満たないものや、気管支炎のように横ばいのものもある。</p> <p>○心臓病、脳卒中、歯周病は増加するも、他の視点(項目)は変わらない。</p>		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。	○喫煙が及ぼす健康影響の範囲をどこまでとするか、受動喫煙についてどう扱うのが適当か検討が必要。		
(3)最終評価 ・最終値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○8つの視点のうち、3つの視点が改善しており(5つの視点は不変)、全体として改善した。		
(4)今後の課題及び対策の抽出 ・最終評価を踏まえ、今後強化・改善等すべきポイントを簡潔に記載			
(5)その他コメント	□脳卒中、心臓病とたばこの関係の認識が進んだのは大きな前進ではないか。壊疽など糖尿病合併症との関係も周知できるとよいのではないか。		

分野:たばこ			
目標項目:4.2 未成年者の喫煙をなくす(喫煙している人の割合)			
目標値	策定時のベースライン値 (H8年度未成年者の喫煙行動に関する全国調査)	中間評価 (H16年度未成年者の喫煙及び飲酒行動に関する全国調査)	直近実績値 (H20年度未成年者の喫煙及び飲酒行動に関する全国調査)
a)男性(中学1年) 0%	7.5%	3.2%	1.5%
b)男性(高校3年生) 0%	36.9%	21.7%	12.8%
c)女性(中学1年) 0%	3.8%	2.4%	1.1%
d)女性(高校3年生) 0%	15.6%	9.7%	5.3%
コメント			
経年変化を踏まえたベースライン値と現状値の分析、特徴(性、年齢、項目別の分類など)を踏まえた分析			
(1)直近値に係るデータ分析 ・直近値が、目標値に対してどのような動きになっているか、留意点を含み分析	<input type="radio"/> 未成年者の喫煙率(月に1回以上喫煙したものの割合)は低下してきてる <input type="radio"/> 男性が女性より高い傾向にある。中学1年から高校3年生と年齢が高くなると喫煙率は高くなる。		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。			
(3)最終評価 ・最終値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	<input type="radio"/> 目標値に向かって改善した。		
(4)今後の課題及び対策の抽出 ・最終評価を踏まえ、今後強化・改善等すべきポイントを簡潔に記載			
(5)その他コメント	<input type="checkbox"/> 大学生期に喫煙を始める人が多いので、大学生の喫煙率、大学の取り組みなども調査したほうがよいのではないかと。		

分野:たばこ			
目標項目:4.3 公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及(分煙を実施してる割合)(知っている人の割合)			
目標値	策定時のベースライン値 (H12年地方自治体庁舎等における禁煙・分煙の実施 状況調査)	中間評価 (H16年地方自治体庁舎等における禁煙・分煙の実施 状況調査)	直近実績値(参考値) (H22年度厚生労働科学研究 大和班)
a) 公共の場 100%	都道府県 89.4% 政令市 95.5% 市町村 50.7% 保健所 95.5%	都道府県 100% 政令市 100% 市町村 89.7% 保健所 100%	・47都道府県中23が本庁舎内建物内禁煙(約49%) ・52都道府県庁所在市及び政令指定都市中9が本庁舎内 建物内禁煙(約17%) ・東京23区中1が本庁舎内禁煙(約4%)
b) 職場 100%	策定時のベースライン値 (H9年労働者健康状況調査) 40.3% (47.7%(喫煙対策に取り組んでいる))	中間評価 (H14年労働者健康状況調査) 55.9% (59.1%(喫煙対策に取り組んでいる))	直近実績値 (H19年労働者健康状況調査) -
c) 効果の高い分煙に関する知識の普及 100%	策定時のベースライン値 (なし) -	中間評価 (H17年分煙の知識に関する全国調査) 男性 77.4% 女性 79.0%	直近実績値 -
コメント			
経年変化を踏まえたベースライン値と現状値の分析、特徴(性、年齢、項目別の分類など)を踏まえた分析			
(1) 直近値に係るデータ分析 ・直近値が、目標値に対してどのような動き になっているか、留意点を含み分析	<p>○公共の場(地方自治体調査等)における策定時、中間評価時と同様の調査はないが、中間評価までにおいて公共の場(都道府県等の本庁舎)における禁煙・分煙対策は都道府県などで100%を満たしており、取組は進んでいる。</p> <p>○また、最近の研究によると、行政の庁舎内においては、ほとんど全ての自治体で何らかの対応がなされており、特に、都道府県においては建物内禁煙に取り組んでいるところが半数近くに上る。</p> <p>○職場(事業所)の喫煙対策も、進んでいる。</p> <p>○効果の高い分煙に関する知識の普及については、…。</p>		
(2) データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、 方法、分析材料等)がある場合、記載。	<p>○様々な受動喫煙対策が取られている中で、今後は、より効果の明かである全面禁煙等の実施状況の把握が重要。</p> <p>○経年的に比較できないデータでの評価となっている(公共の場の喫煙対策等)</p> <p>○b) 職場においては、従来の算出方法は困難であるので、何らかの喫煙対策に取り組んでいる事業所の割合を計上した(括弧部分)</p>		
(3) 最終評価 ・最終値が目標に向けて、改善したか、悪化 したか等を簡潔に記載。	○経年的に比較可能なデータがないなど評価困難であるが、全体的に見ると、策定時より改善してきている状況にあると評価		
(4) 今後の課題及び対策の抽出 ・最終評価を踏まえ、今後強化・改善等すべ きポイントを簡潔に記載			
(5) その他コメント	□医療機関における禁煙対策もこの10年にずいぶん進展した。ほとんどの病院は敷地内禁煙としたのではないか。交通機関の禁煙対策の進行についても言及すべきではないか。		

分野:たばこ			
目標項目:4. 4 禁煙支援プログラムの普及(禁煙支援プログラムが提供されている市町村の割合)			
目標値	策定時のベースライン値 (H13年度地域保健・老人保健事業報告)	中間評価 (H15年度地域保健・老人保健事業報告)	直近実績値 (H20年度地域保健・老人保健事業報告)
全国 100%	32.9% (27.8%)	39.7% (32.2%)	- (38.9%)
コメント			
経年変化を踏まえたベースライン値と現状値の分析、特徴(性、年齢、項目別の分類など)を踏まえた分析			
(1)直近値に係るデータ分析 ・直近値が、目標値に対してどのような動きになっているか、留意点を含み分析	○増加傾向にある		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。	○従来の算出方法では困難であるので、地域保健編より市町村の禁煙指導実績に基づき、全体の割合を出している(括弧部分)。		
(3)最終評価 ・最終値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○目標値に向かって改善した。		
(4)今後の課題及び対策の抽出 ・最終評価を踏まえ、今後強化・改善等すべきポイントを簡潔に記載			
(5)その他コメント	□禁煙治療実施医療機関、OTC販売薬店などの数も把握できるのではないか。		



分野:たばこ			
目標項目:4.5 喫煙をやめたい人がやめる 参考[喫煙率、禁煙希望者の割合]			
目標値(指標)	策定時のベースライン値 (なし)	中間評価 (H15、16年国民健康・栄養調査)	直近実績値 (H21年国民健康・栄養調査)
喫煙率	-	男性 43.3% 女性 12.0%	男性 38.2% 女性 10.9%
禁煙希望者の割合	-	男性 24.6% 女性 32.7%	男性 31.7% 女性 42.4%
コメント			
経年変化を踏まえたベースライン値と現状値の分析、特徴(性、年齢、項目別の分類など)を踏まえた分析			
(1)直近値に係るデータ分析 ・直近値が、目標値に対してどのような動きになっているか、留意点を含み分析	<input type="checkbox"/> 男女とも喫煙率は低下し、禁煙希望者は増加している。 <input type="checkbox"/> 喫煙率は男性に高く、禁煙希望者は女性に多い		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。	<input type="checkbox"/> 禁煙したい人は増えているが、そうした人がどれくらいやめることができたかはわからない。		
(3)最終評価 ・最終値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	<input type="checkbox"/> 直接的な評価は困難であるが、喫煙率、禁煙希望者とも改善しており、全体としては改善と評価。		
(4)今後の課題及び対策の抽出 ・最終評価を踏まえ、今後強化・改善等すべきポイントを簡潔に記載			
(5)その他コメント	<input type="checkbox"/> 喫煙率であるが、ベースライン値のデータもある。新規目標項目であるが、参考に示してはどうか。		